



先週5月8日から新型コロナウイルス感染症への対応が変わりました。今後はインフルエンザと同じ対応になると考えてください。しかし、ウイルスはこの日をもって弱体化したわけではありません。引き続き感染防止の対策が必要です。

新しい対応がはじまりました

ゴールデンウィークには各地で観光客が増え、その混雑ぶりがニュースで報じられていました。山陰道を走っていても県外ナンバーが多く、朝から所々で渋滞が見られました。

学校では、4月から生徒にはマスクの着用を強制しないこととなっていました。今回の改訂では教職員にもマスクの着用を強制しないこととなりました。

また、これまでは同居している家族が感染した場合や感染対策を行わずに感染者と飲食を共にした場合には濃厚接触者として出校停止としていましたが、今後は本人の感染が確認されていない場合は登校が可能となります。

そして、感染した場合の出校停止期間は「発症した日を0日目とし、発症した後5日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日(インフルエンザは2日)を経過するまで」となり、短くなります。

このように対策が緩和されると、新型コロナウイルス感染症の感染の心配はもうなくなったと誤解している人たちもあるようです。決してそのようなことはありません。今でも毎日感染者が報告されています。

引き続き、感染を防止するためには次の4つのポイントを意識しましょう。



- 1 ウイルスを拡散しない
- 2 ウイルスの感染経路を断つ
- 3 ウイルスを受け取らない
- 4 ウイルスに勝つ



そのために必要な具体的な行動は、「大声を出さない」「必要なときはマスク着用」「換気」「手洗い」「発熱や咽頭痛、咳等の普段と異なる症状がある場合には登校しない」「適度な運動と十分な睡眠で抵抗力をつける」こと等です。



ときどき校内でとても元気の良い声が聞こえ、心配になることがあります。今一度、周囲の人たちへの配慮を意識して行動するようお願いします。

校長 松川 明義



【行事予定】5月16日(火)～19(金)：1学期中間考査、自転車点検
16日(火)：ハイパーQU(1・2年)
19日(金)：頭髪服装指導



米工 HP